

Brush Up Letter

D&Nplusブラッシュアップセンターは、妊娠期から職場復帰、子育て期・介護期の医療職者をサポートします。

2026年7月

Vol. 57



Contents

1. 開催報告 みなとKOBEMEDICALキャリアプロジェクト 令和8年度第1回院内講演会
2. 子育ての本・絵本の貸出し
3. おしらせ 令和8年度 第2回キャリアカフェ開催予定、夏季閉室のお知らせ

開催報告



みなとKOBEMEDICALキャリアプロジェクト 令和8年度第1回院内講演会

2026年7月15日（水）18：00～19：00（Zoom）

《演題》 新米医局長が考える脳神経内科医のキャリア支援
～前任者の背中が遠すぎる件。～

《登壇者》 脳神経内科 特命講師

古東 秀介 先生



お子さんと一緒に卓球をする時間が一番の癒し

脳神経内科の守備範囲と課題

脳神経内科の守備範囲は多種多様で、非常に多くの病気を取り扱う診療科であり、脳卒中など急性期が大事な病気もあれば、アルツハイマー病やパーキンソン病など長くお付き合いする必要がある変性疾患、さらには希少疾患のように診療機会が大学病院以外では得にくいものもある。キャリアを考えると、やはり大学病院で希少疾患の診療を経験することが大事なことだと感じている。一方で、脳卒中急の急性期診療を全く経験せずにキャリアを積むのも問題かなと感じている。

急性期病院で脳卒中や炎症性疾患などの救急医療に携わる、リハビリテーション病院での回復期の診療、療養病床や障害者病棟での生活環境調整や、そして、家庭に戻った際のクリニックでの診察、外出が難しい患者さんに対して訪問診療など、どの病院のシステムにおいても脳神経内科医として活躍できる場がある。また、臨床以外でも希少疾患などの研究、企業での新薬の開発など、さまざまなキャリアパスはあるが、まずは専門医を取得する必要があると考えている。

専門医取得への道のりと関連病院

神経内科専門医取得には、まず内科専門医プログラムに所属することになっており、その後、神経内科専門医プログラムを並行して行っていく流れとなる。どちらのプログラムも多種多様な疾患を経験する必要がある、単一の施設では、すべてを網羅するのが難しい面があるため、一度は大学病院をローテーションすることを推奨している。

研修先の関連病院においては、急性期病院が多く、脳卒中など神経救急の修練に併せて、内科研修も行える。神経内科専門医プログラムの間に、回復期の病院でリハビリテーション診療に関する修練を行うこともできる。また、脳神経内科の特徴的なところとして障害者病棟で慢性疾患とじっくり向き合う診療もある。それぞれの病院の機能によって、経験できる疾患や疾患のフェーズが異なるため、研修上はどれも大事な病院であると言える。よって医学生や研修医の先生方には、それぞれの病院の機能を説明し、ワークライフバランスとの兼ね合いも含めて、相談しながら研修プログラムを組み、医局の雰囲気や先輩たちの満足度を伝え、「雰囲気のいい医局だよ」とアピールして、脳神経内科を選択してもらう人集めがまずは大事だと感じている。

働き方改革とキャリアパスの展望

①入院診療においては、入院担当チーム制を堅持し、必ずチームに2、3人プラス教員が配置されるようにしており、専攻医の先生方も絶対に一人にしないような体制を構築している。また、当直明けの半休取得を推進し、月1回の年休を取りやすい環境をつくりたいと考えている。

②病棟当直・宅直については当番制にしており、共有フォルダで申し送りを管理して、必要な患者さんに必要な処置等がもれないように注意しながら診療している。

③「InCircle」アプリを試験運用している。病院サーバーを使用することで、個人情報共有されても情報漏洩にならない環境がつけられており、複数の診療科/病棟で試用されている。休日の連絡もしやすいLINEのようなアプリで、病棟のチーム内で情報を共有し診療の効率化を図っている。また、週1回の入院患者カンファレンスにおいては、コロナ禍を経て、リモートでできるような形を構築しており、KUMEXを使って会議を行っている。入院患者さん全員について議論する場に大学院生も参加でき、専門的な意見を述べてもらえるというメリットもある。また教授回診についても、iPadを介して実況中継することで、密な状況を回避しながら全体で患者さんの状態を把握するということに努めている。

④業務について、負担軽減ため他部署と調整を行い、タスクシフトできるものがないか病棟医アンケートを行った。また、専攻医のニーズについての調査を行った結果、臨床経験を積みたい、大学ならではの学習機会を得たいという点がニーズとして大きく、一般病院では得られない知識や技術的なところを専門の先生から教わることができるところが大学病院の売りだということを再認識した。専門医取得後は、病院勤務の先生が多いため、無理なく働けるような環境づくりが大事だと思っており、大学病院には、多種多様な働き方をしている先生方も多く、若手の先生方には個人個人にどういうキャリアを描いているのかを聞きつつ、それぞれどういうキャリアプランがよいのかを考える機会をつくっていききたいと思っている。

脳神経内科は、急性期回復期、慢性期、在宅診療まで様々な診療を担うことができることから、適性や希望に応じての就労を考えていく必要がある。一方で、バーンアウトに注意しつつ、専攻医のニーズやITも取り入れながら業務改善にも効率化に取り組んでいけたらと考えている。

ご参加いただきました先生方、ご視聴いただきましたみなさま、ありがとうございました。

すべてのメディカルスタッフが利用対象者です

子育ての本・絵本の貸出し

学内便でお届けします 
(ブラッシュアップセンターでの受け取りもOKです)



気になる1冊、借りて世界を広げよう☆

- 【対象者】 神戸大学医学部附属病院に就労中または職場復帰を目指す医療従事者及び事務職員の方。
- 【貸出し期間】 4週間（延長を希望する場合、返却期限前に申請ください。）
- 【貸出し冊数】 1人5冊まで



お申込みはこちらから



お知らせ

令和8年度 第2回

キャリアカフェ

日時：2026年10月開催予定
場 所：福利厚生施設4階
神緑会館記念ホールA
参加方法：対面
(お弁当を準備しております。)

《テーマ》仕事と家庭の両立

※日程等、詳細が決まりましたら改めてご案内いたします。



夏季閉室日のお知らせ

8月12日(水)～8月14日(金)

ご用件のある方は、
当センターホームページの
「メールでお問合せ」から
メッセージを送信ください。

【発行】

神戸大学医学部附属病院 **D&Nplus ブラッシュアップセンター**

〒650-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5地域医療活性化センター1階

TEL 078-382-5266 / FAX 078-382-5837 MAIL brushup@med.kobe-u.ac.jp

HP <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/>

